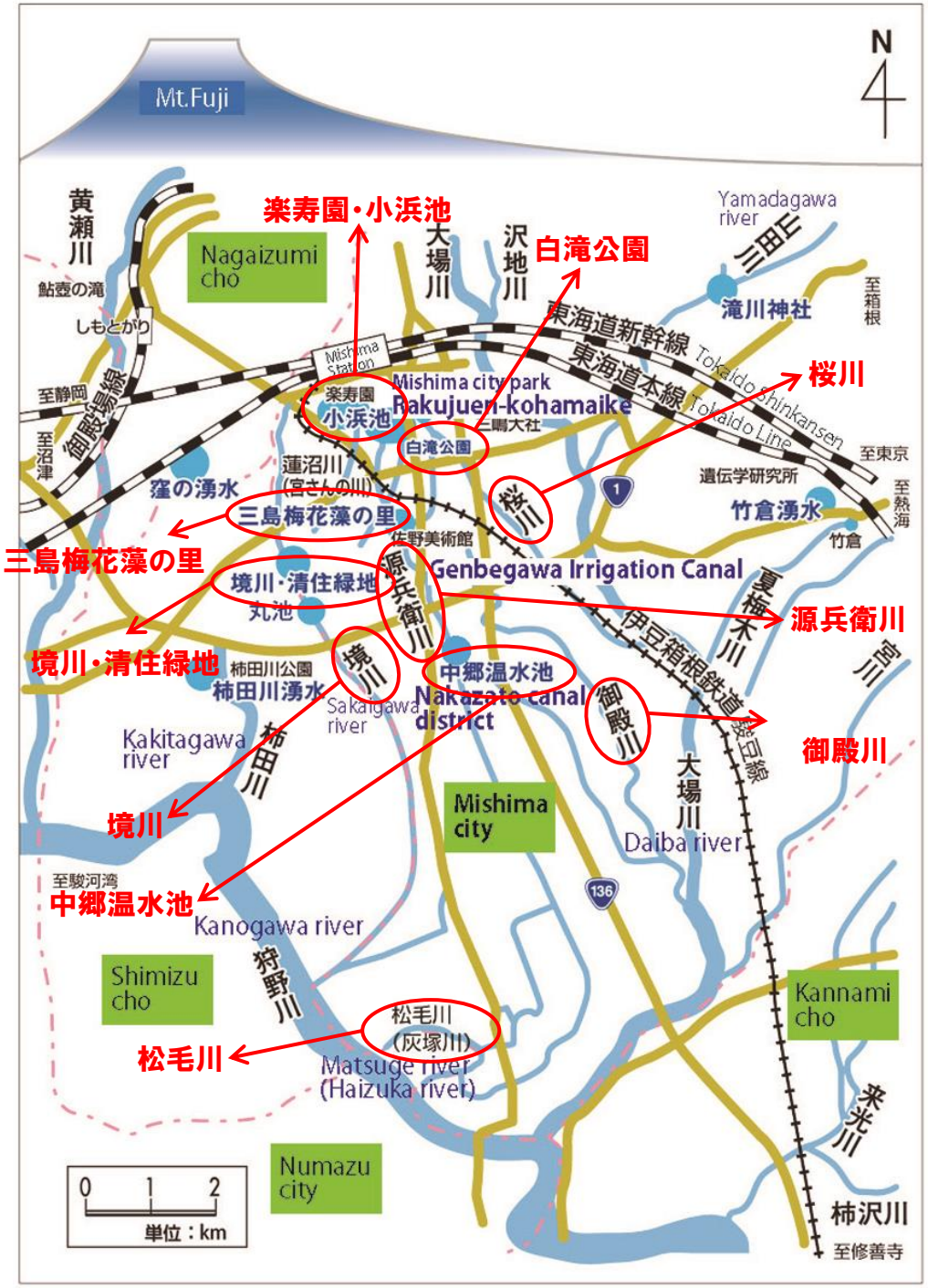
地域協働で「水の都・三島」の環境資源を再生
「水と緑のネットワーク」創造事業

特定非営利活動法人　グラウンドワーク三島


N
Mt.Fuji
楽寿園・小浜池
白滝公園
桜川
三島梅花藻の里
境川・清住緑地
源兵衛川
中郷温水池
御殿川
境川
松毛川
黄瀬川
Nagaizumi cho
鮎壺の滝
しもとがり
至静岡
至沼津
御殿場線
Mishima Station
東海道新幹線 Tokaido Shinkansen
東海道本線 Tokaido Line
楽寿園
小浜池
Mishima city park
Rakujuen-kohamaike
三嶋大社
白滝公園
蓮沼川
(宮さんの川)
窪の湧水
三島梅花藻の里
佐野美術館
境川・清住緑地
丸池
源兵衛川
Genbegawa Irrigation Canal
柿田川公園
柿田川湧水
境川
Sakaigawa river
中郷温水池
Nakazato canal district
Kakitagawa river
柿田川
Mishima city
至駿河湾
Kanogawa river
狩野川
Shimizu cho
松毛川
(灰塚川)
Matsuge river
(Haizuka river)
Numazu city
0 1 2
単位：km
Yamadagawa river
三田川
滝川神社
至箱根
遺伝学研究所
竹倉湧水
竹倉
至東京
至熱海
伊豆箱根鉄道駿豆線
夏梅木川
大場川
Daiba river
来光川
柿沢川
至修善寺

開始前の状況

満水状態の
楽寿園小浜池

地下水の減少、湧水池の枯渇
（上流地域での地下水の汲み上げ、開発行為の拡大、地下水規制制度の形骸化）

湧水が枯渇した
楽寿園小浜池

開始前の状況

1955年以前の
源兵衛川の原風景

環境悪化

（ゴミの投棄、雑排水の流入、水質悪化
悪臭、ヘドロの堆積、水の都への愛郷心
の劣化、暗渠化の検討、まちづくり意欲
の低下等）

1968年当時の
汚れた源兵衛川

開始前の状況

水源地の湧水池が売却・消滅

歴史的価値ある井戸の売却・損出

工事による環境被害の多発化

歴史的な巨木の維持管理・保育不足による倒木・消滅

社会的ニーズへの対応
環境資源の危機的状態が活動の起爆剤

①変わり果てた『水の都・三島』の水辺自然環境
②バラバラな市民・NPO・行政・企業
③難しいパートナーシップの構築

イギリスで始まったグラウンドワーク手法を導入、実践

- 仲介型NPO「グラウンドワーク三島」の結成
- 水辺自然環境の再生、原風景・原体験の復活
- パートナーシップの有益性と発展性を実証
- 「NPOの特性」をフル動員

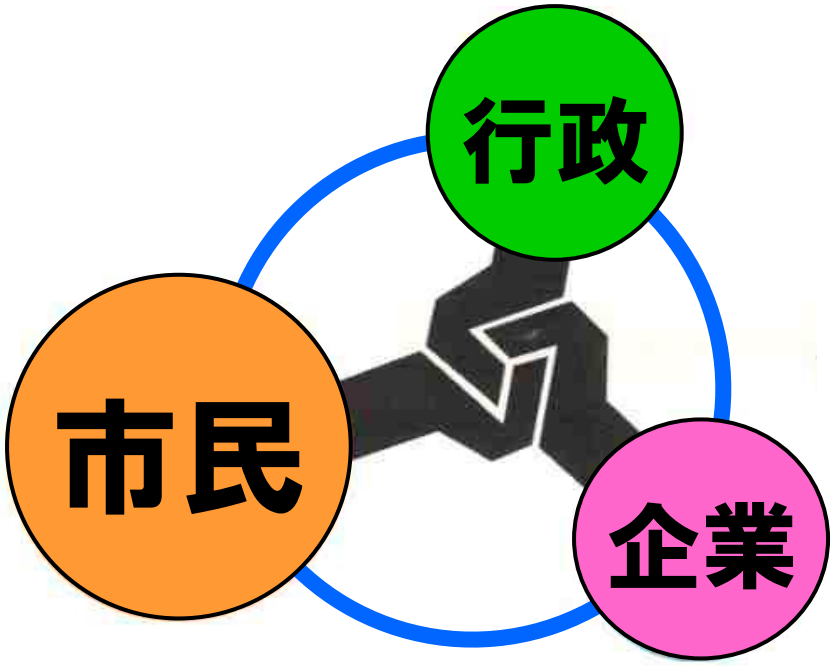
  自由度、迅速性、行動力、独創性、先駆性、柔軟性、多彩性、汎用性、社会的波及効果、教育的波及効果

創造性・革新性

合言葉は「右手にスコップ・左手に缶ビール！」
「議論よりアクション」「走りながら考える」

グラウンドワーク三島の役割

- **市民**・・・現場で汗を流す
  市民力・地域力を結集
- **企業**・・・協力する
  専門性を発揮、資機材提供
- **行政**・・・支援する
  資金援助・制度的支援・物的支援
- **グラウンドワーク三島**・・・調整・仲介する
  中立的・専門的な支援と役割



グラウンドワーク三島

①源兵衛川の水辺再生

整備前の源兵衛川（1980年代）

源兵衛川の清掃活動

源兵衛川環境再生ワンデイチャレンジ

源兵衛川環境再生ワンデイチャレンジ

中郷温水池ホテイアオイ掃討大作戦

環境出前講座の開校

住民参加の計画づくりと合意形成

地域協働で汚れた川を清流に再生

地域の恥に成り下がった
汚れていた頃の源兵衛川
（1960年～1989年）

地域協働で清流を
取り戻した源兵衛川

都市と農村を結ぶ水の道・よみがえった源兵衛川

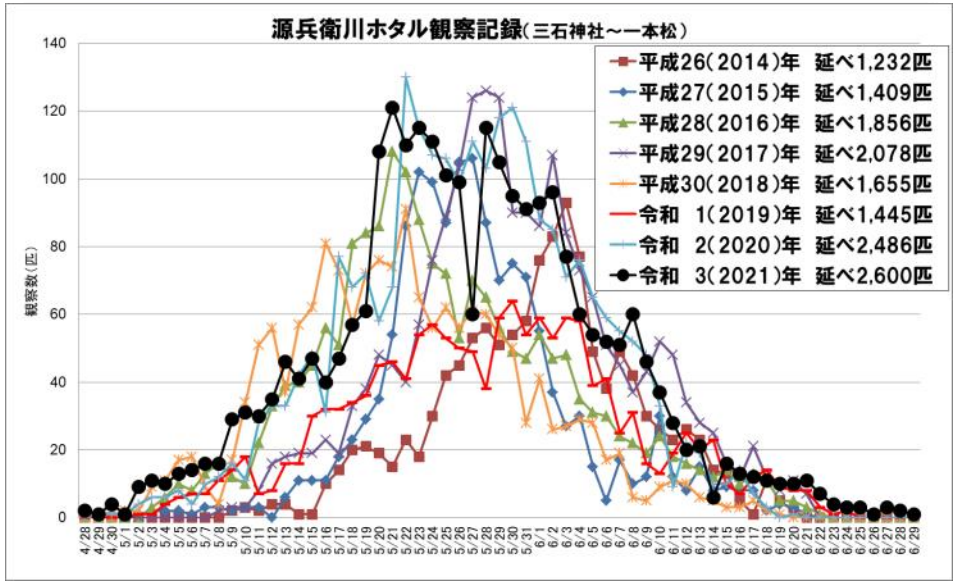
源兵衛川第2ゾーン「水の散歩道」

源兵衛川第2ゾーン「水の散歩道」

源兵衛川第5ゾーン「ミシマバイカモ群生地」

源兵衛川第8ゾーン「中郷温水池」

源兵衛川のゲンジボタル観察数（平成26～令和2年）



絶滅危惧種・ミシマバイカモを復活

清流のバロメーター

ミシマバイカモ

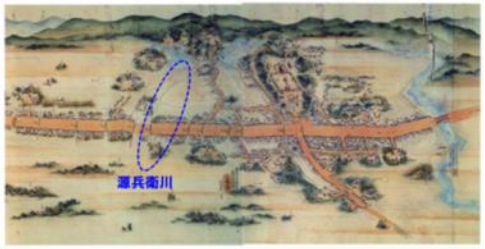
（静岡県レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類）

源兵衛川・ミシマバイカモ群生地
増殖させたミシマバイカモを移植

源兵衛川が世界遺産にダブル登録

●「世界かんがい施設遺産」

- 2016年11月、国際かんがい排水委員会（ICID）
- 源兵衛川（Genbegawa Irrigation Canal）で申請
- 100年以上前に造られた農業施設で今も使用され、適切な機能を果たしており、溶岩を掘削し、蛇行して湧水を確保しながら、800haもの水田に農業用水を配水する用水システムの技術力と、現在も歴史的な施設が壊されず、保全・維持されている管理システムが評価された。



●「世界水遺産」

- 2018年1月、世界水会議（WWC）
- パートナーシップによる「源兵衛川」の管理再生システム（A Partnered Management and Restoration System of the Genbegawa Irrigation Canal）で申請
- 100年以上前の歴史的な農業用施設であり、受益者である農業者だけの管理ではなく、川沿いや周辺の地域住民やNPO、企業などとのパートナーシップが構築され、都市河川としての憩いの場、水辺空間として保全・維持されている地域協働のシステムが評価された。

②松毛川千年の森づくり

埋め立てによる河畔林の枯死・欠損（2007年）

左岸・河畔の植林活動（2007年～）

左岸・植林木の保育と下草刈り（2007年～）

左岸・現在の植林地（立派な森に成長）

松毛川(灰塚川)整備構想図

③境川・清住緑地・水の郷大湧水公園

大湧水池・三つ又

養魚場跡地

水の郷大湧水公園
横断面図 S=1:150

公園整備の工事開始

完成後の境川・清住緑地湧水公園

「水と緑のネットワーク」の成果

①源兵衛川

昔の源兵衛川（1950年代）

整備前の源兵衛川（1980年代）

清流がよみがえった源兵衛川

②松毛川

放置竹林に覆われた河畔林

放置竹林伐採作業

竹林伐採後の河畔林（ご神木現る）

③境川・清住緑地

元養魚場の湧水地が埋立
消失の危機

ミチゲーション工事

復活した湧水の水柱

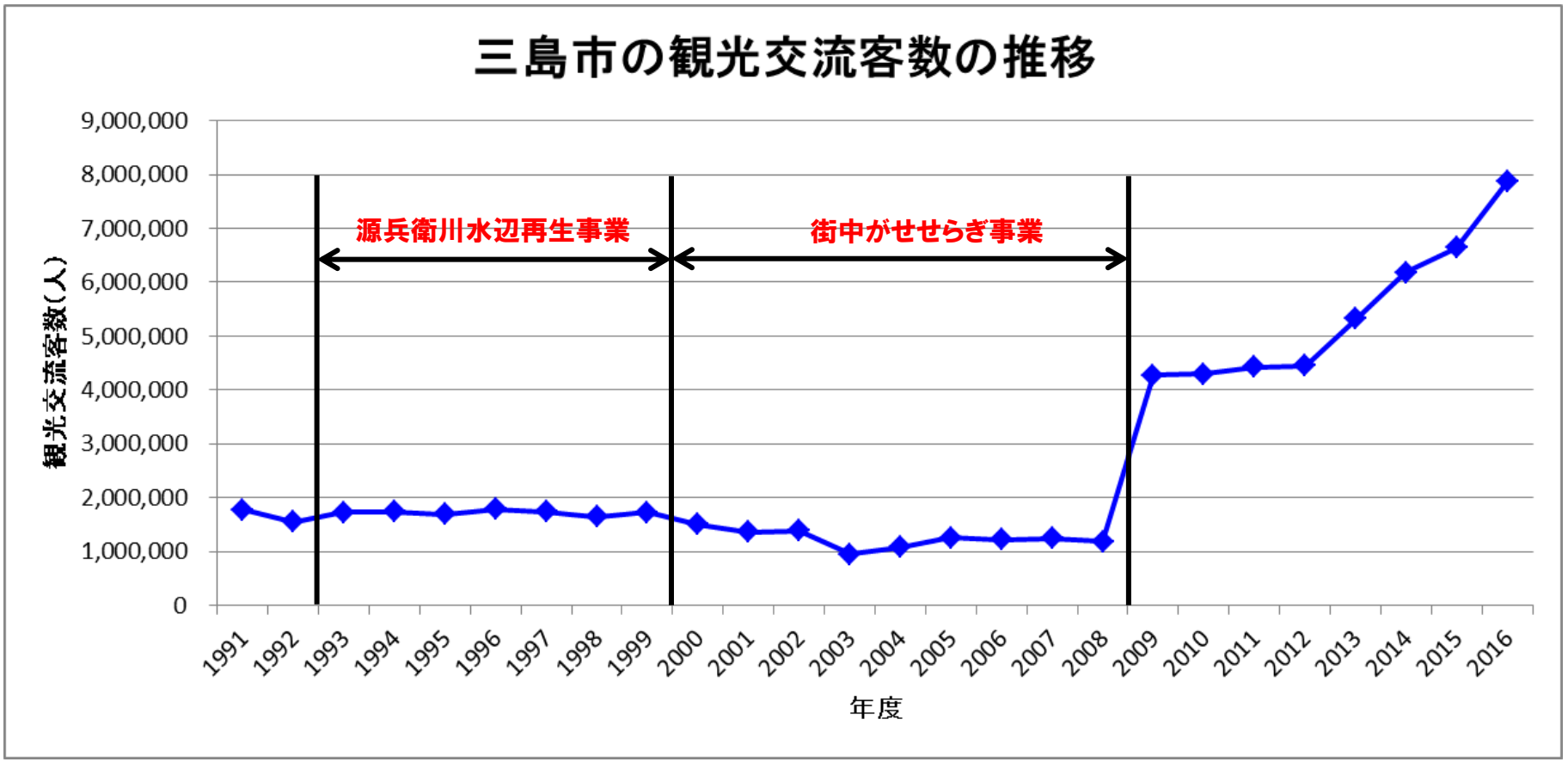
グラウンドワーク三島の実効性

- 29年間で70箇所を整備
- 今後10年間で
  100箇所目標
- 「市民公協事業」
  の展開

グラウンドワーク三島の
プロジェクト実践地

社会的・経済的な波及効果

- 地域の経済的発展に貢献
  - 観光交流客数174万人（1991年度）が714万人（2019年度）と約4倍に増加



展開可能性

- 2020年5月の市民アンケートで91.7％の市民が「三島は住みやすい」と答え、満足度は前回4位「公園・水辺空間の整備」が2位に浮上、水辺自然環境の優位性を実証
- 街中全体を俯瞰した、歩いて楽しい賑わいのあるまちづくり計画・グランドデザインの策定
- **源兵衛川の再整備（15億円）、御殿川の親水公園化（10億円）の事業化**

伊豆日日新聞　令和2年（2020年）8月29日　（土曜日）

三島市市民意識調査

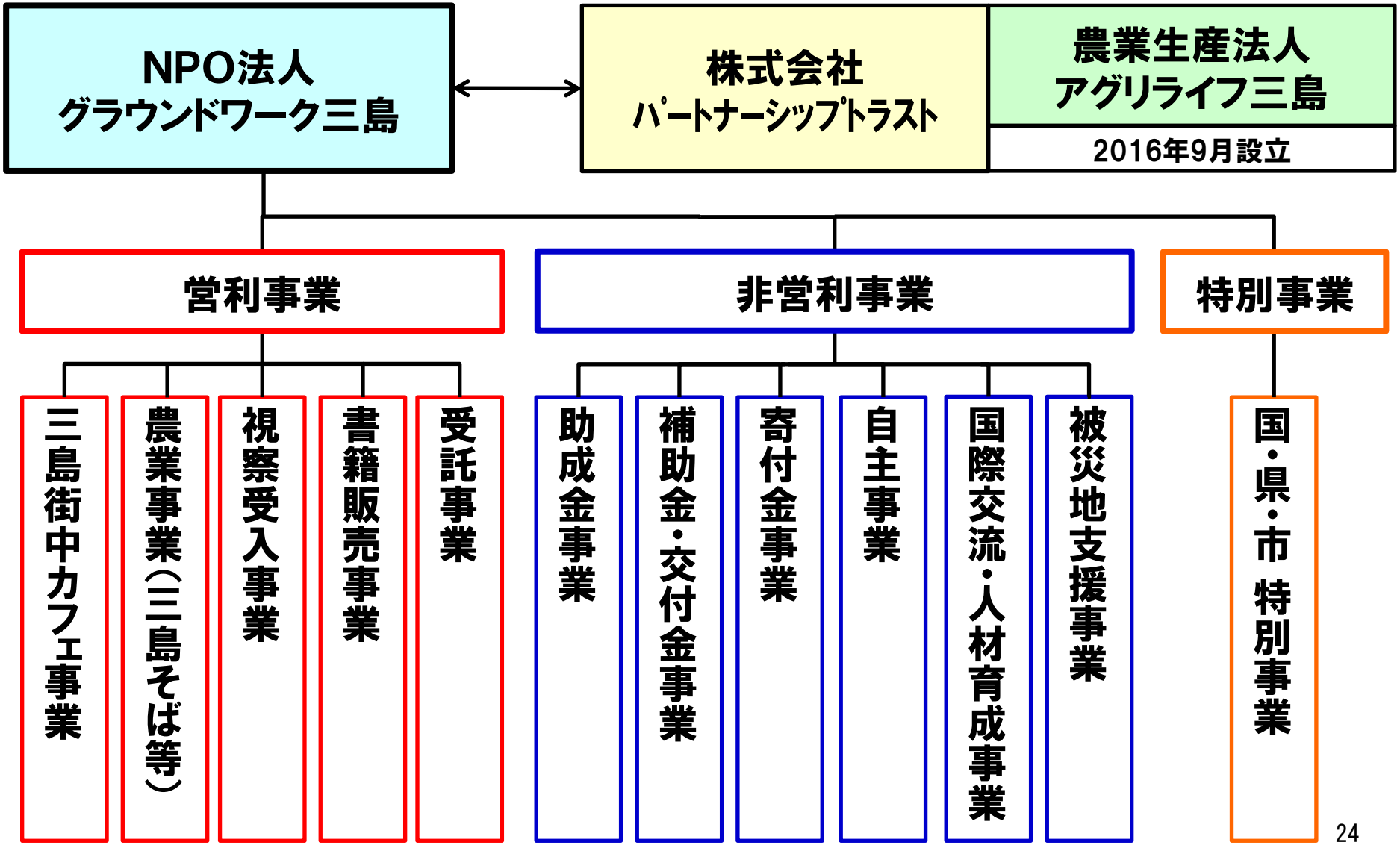
91.7%が「住みやすい」

「幸福感」とともに過去最高

「公園・水辺空間の整備」満足率上昇

川好き少年・水餓鬼が彼女2人を
自信満々で源兵衛川をご案内中

持続可能性（運営体制）


NPO法人
グラウンドワーク三島
株式会社
パートナーシップトラスト
農業生産法人
アグリライフ三島
2016年9月設立
営利事業
非営利事業
特別事業
三島街中カフェ事業
農業事業（三島そば等）
視察受入事業
書籍販売事業
受託事業
助成金事業
補助金・交付金事業
寄付金事業
自主事業
国際交流・人材育成事業
被災地支援事業
国・県・市 特別事業

三島街中カフェ1号店

三島街中カフェ2号店

三島街中カフェ3号店

三島そばの花

市民力・地域力を結集して
「水の都・三島」湧水網都市を創る！

グラウンドワーク三島事務局

せせらぎ環境案内処